



LNGの受け入れ立ち合い。高圧ガス製造保安責任者の資格が必要

求められるのは経理・財務の知識や経験で、年齢を問われることはない。週数日だけ働きたいシニアと毎日来るほどの仕事量はない中小企業との相性はいいという。

第二の人生のサポート

勤務先の用意したレールが社外にも広がったケースもある。02年に設立されたヤマト・スタッフ・サプライの尾崎幸嗣社長は、「OBのやりがいのある職場の提供、地域の課題解決、ヤマトグループの課題解決の3つの切り口で展開している」と話す。フルタイム、パートタイムを問わず65歳になると、まず派遣スタッフとして登録。

本人の希望を聞きながら、例えば軽い荷物の仕分けの担当にするなど現場は配慮して受け入れる。現在はOBでない一般人も登録することができる。

「もう少し運転したい」「独立したい」という人には、軽貨物フラ

ンチャイズ(加盟金無料)で独立する道も用意。リースやローンを含む際のサポートもする。病院や介護施設、企業などの送迎サービス事業も手がけ、ドライバーとして活躍する道も用意した。サービス介助士の資格が必要な人は同社負担で取得できる。

宅配ロッカーやカーシェアリング車両の清掃、また全国津々浦々にスタッフが着目した地域限定、全国規模の仕事も舞い込む。派遣で働く人が、空いた時間に業務請負の仕事にしても構わないという。

東京しごと財団が運営する「東京しごとセンター」には、人材紹介会社に登録しても仕事が見つかりにくい人が多く訪れる。希望職種と求人とのギャップが多く見受けられるが、「何のために仕事をするか、どの程度働きたいか、家計も含め自己分析できている人は早く就職できる」と担当者は話す。

「週2日くらい働きたい」「培った経験を若者に伝えたい」「専門性を生かしてまだまだバリバリフルタイムで働きたい」……。体力、知力、経験、考え方、能力などが人によって異なるシニアの望む働き方は多様だが、ニーズに合った働き方は徐々に広がっている。

(ライター) 竹内三保子